

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成25年5月30日 (2013.5.30)

【公表番号】特表2012-523434(P2012-523434A)

【公表日】平成24年10月4日 (2012.10.4)

【年通号数】公開・登録公報2012-040

【出願番号】特願2012-504907(P2012-504907)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/04 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/02 Z N A

A 6 1 P 3/04

A 6 1 P 3/10

【手続補正書】

【提出日】平成25年4月3日 (2013.4.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

治療上有効な量のアミリンアゴニスト化合物を含み、処置を必要とする哺乳類におけるエストロゲン欠乏症を処置するための医薬組成物。

【請求項 2】

治療上有効な量のアミリンアゴニスト化合物を含み、エストロゲン欠乏哺乳類における肥満または過体重を処置するための医薬組成物。

【請求項 3】

治療上有効な量のアミリンアゴニスト化合物を含み、エストロゲン欠乏哺乳類において

、

体重もしくは体脂肪を低減し；

体重を維持し；

胃内容排出を遅延もしくは低減し；

食欲を減退させ；

満腹感を増大させ；または

B d n f レベルを増大させる

ための医薬組成物。

【請求項 4】

治療上有効な量のアミリンアゴニスト化合物を含み、哺乳類において、

卵巣摘出後の体重増加を低減し；

卵巣摘出後の肥満および／もしくは過体重を処置し；

閉経期、閉経期後もしくは閉経期前後の体重増加および／もしくは体脂肪を低減し

；

閉経期、閉経期後もしくは閉経期前後の肥満もしくは過体重を処置し；または

B d n f レベルを増大させる

ための医薬組成物。

【請求項 5】

有効量の

レプチンもしくはそのレプチン類似体；
メトレレプチン；
G L P－1 受容体アゴニストもしくはその類似体；
P Y Yもしくはその類似体；
G I Pもしくはその類似体；または
C C Kもしくはその類似体

をさらに含む、請求項 1～4 いずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

G L P－1 受容体アゴニストが G L P－1（7－37）またはエキセンディン－4である、請求項 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

アミリンアゴニスト化合物が式（I）、（II）、（III）、（IV）、（V）、（VI）、（VII）、（VIII）、（IX）または（X）の化合物である、請求項 1～4 いずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

アミリンアゴニスト化合物が配列番号 1～139 のいずれか 1 つのアミノ酸配列と少なくとも 90 % の配列同一性を有する、請求項 1～4 いずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

アミリンアゴニスト化合物がアミリン受容体結合アッセイにおいて約 200 もしくはそれ未満の IC_{50} を有するか、または、ヒラメ筋検査において約 20 もしくはそれ未満の EC_{50} を有する、請求項 1～4 いずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

アミリンアゴニスト化合物がペプチド、炭水化物、糖、ポリエチレングリコール、アルブミン、脂肪酸、ポリアミノ酸、デキストラン、ゼラチン、ポリビニルピロリドン、ポリビニルアルコール、N－（2－ヒドロキシプロピル）－メタクリルアミド、またはそれら 2 つ以上の組合せと結合されている、請求項 1～4 いずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

アミリンアゴニスト化合物が 1 つ、2 つ、3 つまたは 4 つのアミノ酸残基でグリコシル化されている、請求項 1～4 いずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

アミリンアゴニスト化合物の治療上有効な量が、

1 μ g～5 mg；
1 μ /日～5 mg/日；
1 μ g/週～5 mg/週；
1 μ g/月～5 mg/月；
10 μ g～3 mg；
10 μ g/日～3 mg/日；
10 μ g/週～3 mg/週；
10 μ g/月～3 mg/月；
50 μ g～2 mg；
50 μ g/日～2 mg/日；
50 μ g/週～2 mg/週；
50 μ g/月～2 mg/月；
100 μ g～1 mg；
100 μ g/日～1 mg/日；
100 μ g/週～1 mg/週；または
100 μ g/月～1 mg/月

である、請求項 1～4 いずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

アミリンアゴニスト類似体の治療上有効な量が少なくともアミリンアゴニスト化合物の治療上有効な最小血漿レベルをもたらす、請求項 1～4 いずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 14】

アミリンアゴニスト化合物が配列番号 142 のアミノ酸配列または医薬上許容されるその塩を含む、請求項 1～4 いずれか一項に記載の医薬組成物。